



2026 和歌山1区・かなめ選挙

文責・かなめ ゆきこ

※こちらは選挙に関して候補者個人が関与した一部のみの振り返りです。実際は、このほか何項目も何倍もの業務量を選対の方々、支援者の方々に担って頂きました。

1月9	高市総理が通常国会冒頭で衆院解散を検討との速報が深夜に流れる	
1月14	立憲民主党和歌山県連常任幹事会で投票の末、候補者確定。幹事会の最中、「立憲と公明が新党結成」の一報が入る。	
1月15	公認申請書類の準備	
1月16	ポスター写真撮影	
1月17	公示日1月27日まで、連日ご挨拶まわりや推薦依頼、選挙ビラ作成など各種資材作成 (選対の方々には、公選ハガキやポスター貼りの準備、選挙カー、選挙事務所等、選挙の段取りを全部してくれました)	
1月20	記者会見では、Webサイトに載せている決意表明を記事に書いて頂きました。候補者アンケートをたくさん持ち帰る。	
1月21	候補者横顔取材。これまでの性産業従事者支援やHIV予防啓発、困窮者支援のほか、海外出稼ぎ労働者増加の懸念や、労働者協同組合法の活用促進、お笑いが好きすぎる一面を取り上げて頂きました。	
1月22	ご挨拶まわり	
1月23	ご挨拶まわり。辻立ち	
1月24	政見放送撮影。タスキ注文	
1月25	山本かなえ議員が来和し街頭演説。選挙事務所賃貸契約	
1月26	選挙公報の入稿。選挙事務所電話番号契約。辻立ち	
1月27	公示日。出陣式。スポット4つ。街宣	
1月28	スポット5つ。街宣。	
1月29	辻立ち1つ、スポット1つ。街宣	
1月30	泉健太議員が来和し街頭演説会。辻立ち2つ、スポット3つ。街宣	
1月31	辻立ち1つ。街宣	

1区に要氏 中道擁立へ
立憲民主党県連は20日、同県連幹事長の要友紀子氏(49)を次期衆院選の和歌山1区に公認候補との新党「中道改革連合」公認で擁立すると発表した。

要氏はこの日会見し、「右傾化する高市政権の暴走によって、個人の権利、平和と民主主義、機会の平等やセーフティネットが危機に陥っている」と主張。「包摂と共生によって恐怖と不安を希望に変える中道政治を断念しない」と述べた。

要氏は有田市青木で元三重大非常勤講師、NGOの委託スタッフとして2022年の参院選で立憲から比例区に立候補し、落選した。

和歌山1区には、自民党現職の山本大地氏(34)、日本維新の会新党で前県議の浦平美博氏(54)、参政党候補の林(54)が立候補に向けて準備しており、維新を

1月21日朝日新聞・和歌山版



選挙公報

暮らしの現実から、政治を立て直す！

右か左か、賛成か反対か、極端な議論では、生活はよくなりません。中道改革連合は、生活者の実感を出发点に、現実的な改革を積み重ねます。

【私たちの基本姿勢】 差別も、支障も、将来への投資も、どれか一つではなく、バランスよく進める政治を行います。

3つの柱

- 1 差別にさらし守る命を守る
- 2 働く人を守る
- 3 暮らしの現実から政治を立て直す

公平性を大切にする政治！生活者ファースト！

かなめ ゆきこ



2月1

動画撮影。辻立ち2つ。街宣

2月2

辻立ち1つ、スポット。街宣

2月3

山本かなえ議員が来和し3か所で街頭演説会。辻立ち2か所。街宣

2月4

辻立ち1つ。街宣

2月5

島精機前での門立ち。街宣

2月6

国重とおる議員が来和し4か所で街頭演説会。辻立ち3つ。街宣

2月7

選挙最終日、スポット15。街宣。20時マイク納め



◆選挙結果

和歌山1区 候補7		
	山本 大地 34歳 自派 前 2回 96,836票 (46.2%)	比例 選挙
	林 佑美 44歳 自派 前 2回 31,252票 (15.7%)	比例 選挙
	要 友紀子 49歳 中派 前 30,208票 (14.6%)	比例 選挙
	林元 政子 51歳 中派 前 20,292票 (9.8%)	比例 選挙
	浦平 美博 54歳 自派 前 19,067票 (9.2%)	比例 選挙
	前 久 69歳 自派 前 9,877票 (4.7%)	比例 選挙
	正司 武 75歳 自派 前 795票 (0.4%)	比例 選挙

◆選挙事務所に手伝いに来てくれた要個人の活動仲間や友人たち15人(有田市2人、和歌山市2人、関東4人、関西5人、中部1人、九州1人(内訳:幼馴染2、友人1、活動仲間6、市民活動仲間2、自治体議員2、元自治体議員2。そのうち要経由の党員5))



◆上記以外にも、寒い中ポスターを貼りに行き下さったり、選挙ががき、証紙貼り、電話かけ、街頭演説、ご寄付、為書き、差し入れ、応援メッセージ等、たくさんのご協力をして頂きました。選対の皆様、立憲和歌山県連の皆様と支援者様、公明党の皆様と支援者様、労働組合の皆様、友好議員の皆様、運転手さん、うぐいすさん、動画編集者さん、印刷会社さん、各種制作会社さん、デザイナーさん、カメラマンさん、子どもの頃からお世話になっている母や父の友人の方々、高校時代の恩師、高校時代のクラスメイトとサッカー部の皆様と同窓生の皆様、中学時代のバスケット部親友たち、初島の幼馴染たち、その他お支え頂いた大勢の皆様、心から感謝申し上げます。

◆各市の開票結果

和歌山市 投票率 53.86% 開票終了	
山本 大地	71,613 (45.5%)
林 佑美	24,845 (15.6%)
要 友紀子	22,853 (14.5%)
林元 政子	15,516 (9.6%)
浦平 美博	14,518 (9.2%)
前 久	7,393 (4.7%)
正司 武	534 (0.3%)

紀の川市 投票率 55.79% 開票終了	
山本 大地	13,634 (49.4%)
要 友紀子	3,975 (14.3%)
林 佑美	3,517 (12.8%)
浦平 美博	2,432 (8.8%)
林元 政子	2,370 (8.6%)
前 久	1,379 (4.9%)
正司 武	177 (0.6%)

岩出市 投票率 50.98% 開票終了	
山本 大地	10,589 (47.1%)
要 友紀子	3,380 (15.0%)
林 佑美	2,990 (13.3%)
林元 政子	2,406 (10.7%)
浦平 美博	2,117 (9.4%)
前 久	955 (4.3%)
正司 武	84 (0.4%)

◆街頭演説32箇所。各種SNS動画数26本、ライブ配信3回

◆選挙で訴えたこと

- 第3号被保険者制度の見直し
- 労働者協同組合法(2022年施行)の活用による地域経済の活性化と地域課題解決の両立
- 経済的事情による、やむを得ない動機による海外出稼ぎ労働者が、日本国内の働き口もどちらでも選べるような労働環境・条件を確保すること。そのために賃上げと、賃上げする企業に対する支援について、政治の責任を果たす。
- 各種SNSプラットフォームのアメリカ資本(トランプ政権)による支配と情報コントロールの問題に、国として取り組むべき。

◆政治への思い(選挙最終日に訴えたこと)

●人それぞれのしんどさの意味を平等にすること。主流秩序的な価値観によって、粗末に扱われる人が出てくることを防ぐのが政治の役割。政治や行政から粗末に扱われる経験をすると、人は誰にも助けを求めようと思わなくなるから。自己責任の考え方が強くなると、自殺も犯罪もいじめも差別も減らない。公平性について行政監視する政治家が必要。

しかし、現状はそうはなっておらず、長らく人権格差が存在した状態で、様々な社会政策の支援法により、民間団体による事業型支援に予算がつけられている(様々な給付金も)。これらは、資本主義の構

造改革ではないし、経済政策や労働政策ではない。困っている人への直接給付でもない。だからこそ、給付付き税額控除や社会保険料引き下げ、住まいの提供や支援など、民間ではなく国によって、資本主義の構造改革を進め、人権の公平性と再分配が重要。

◆反省点

- 選挙前の話としては、朝立ちや辻立ちを一人でやることについて懸念するご意見を頂き、普段の一人での街頭活動について及び腰になってしまった。
- 昨年からの常任幹事会で出馬の意向を表明していたが、他の方の立候補に関する意志確認待ちが何か月も長引いたため、候補者の選定が選挙直前になってしまった。

◆今後に向けて

- 各地の催しや地域の取り組み等に詳しくなり、貢献していく。
- 和歌山県に特化した後援会をつくり、和歌山での仲間を増やしていく。
- 演説がうまくなるように練習する。紙をみて喋る場合は堂々と紙をみる。内容は、現職ではない新人候補として見合った内容にし、政策よりも、和歌山の人々のためにがんばりたい気持ちや熱意、動機や自分自身についてを伝える内容をメインにする。
- 手振りやダッシュは、人がいないところでも手を振り続けること、速く走ることが大事。
- 党のものとは別に、自分独自のパンフレットを作る。
- まだまとめられていない活動実績や経歴をまとめる。
- 選挙資金を稼ぎ、事務所をつくる。
- 人にたくさん会う。
- 発信を増やす。
- 来年の統一地方選で仲間の勝利に向けて力を合わせる。



2月9日朝日新聞和歌山版では、かなめの敗因についてのコメント「準備と共同の不足」と、連合和歌山幹部のコメント「不完全燃焼だった選挙」が紹介されました。